

スピードスケート・ジャパンカップ競技会

第1戦5000メートル 小川が1位

ジャパンカップスピードスケート競技会の第1戦・帯広大会(11月13日、明治北海道十勝オホホロコアイスアリーナ)が行われ、5000メートルで小川翔也(文3・池田高)が1位。1500メートルでは小川が2位、池田崇将(経営3・白樺学園高)が1分52秒93で

今季タイムランキング

近藤・土屋がトップ

ワールドカップスピードスケート競技会の第1戦(カルガリー、11月13日)と第2戦(ソルトレイクシティ、11月20日)を終了。土屋良輔(経営3・姫恋高)が第1戦の5000メートルで6分28秒30、近藤太郎(経営3・駒澤大附小牧高)が第2戦の1000メートルで1分09秒08を記録、2戦目を終えた時点で、ともに今季日本人タイムランキング1位に立った。スピードスケート部から目が離せない。



▲今季好調の小川

バスケットボール・男子7位 全日本大学選手権 「全日本総合」出場

全日本大学バスケットボール選手権(男子)11月23日、代々木第二体育館ほか、女子11月23日、大田区総合体育館ほか)が行われ、男子が7位となり、1月の全日本総合選手権の出場を決めた。1回戦で東海大札幌に112-65で快勝。ベスト8をかけた2回戦の日大戦は、これまでチームを引っ張ってきた田代直希(商4・東海大浦安高)が第3ピリオドだけ



▲堅守を支えた福島

サッカー！ 関東大学リーグ戦 5連覇逃し8位

サッカー！ 関東大学リーグ戦が終了した。専大は6勝8分8敗の勝ち点26で8位。期待がかかったリーグ戦5連覇を逃す結果となった。GK福島春樹(法4・静岡学園高)を中心に総失点23(リーグ3位)と堅守を発揮したが、全日本大学選手権(インカレ)の出場権(5位以下)は、源平貴久監督に届かず、源平貴久監督は「インカレ出場を目指したが、その後は持ち

したが、今ひとつ順位が上がらなかった」と今季を振り返った。しかし、最終節の中大戦(0-0)では、来シーズンに向けてスタメンで健闘。来季の王座奪還に注目だ。(岡田詠美・文1)

前の守備力の高さで守り勝つホッケーを展開。最終戦の東海大戦は金子力(法3・日光明峰高)の先制ゴールを皮切りに、東山凌士(法1・日光明峰高)、上澤舞央(法2・武相高)が追加点を決めた。(飛田翼・文1)

成田国際高)ペアが8位入賞と健闘した。大会には約2000人の拳士が出場。多くの実力者が集まった。川田は「うれしくてガッツポーズが出た」と喜びつつ「他大学のレベルに圧倒された。来年は優勝を目指す」と話した。杉本は「精いっぱい演武ができたが悔しい。来年の関東学生では組、団体の両方でトップに立つことを目標にしたい」と語った。

来年から主将を務める渡慶次は「スタイルの異なる関西勢と戦い勉強になった。部全体のレベルアップが実感できた大会だった」と振り返った。来年の関東学生大会では、上位入賞への期待が大いに高まる。(飯塚恒成・文2)

バドミントン・関東学生新人選手権

加藤・森・ペアが連覇

関東学生バドミントンの序盤で苦戦を強いられ新人選手権が11月2日から29日まで、東海大学湘南校舎体育館ほかで行われた。第1ゲームは自分たちのミスで落とす。しかし第2ゲームを10点差で取り返すと、第3ゲームは勢いそのままに点を重ね、終盤2点差に追い上げられるも最後は森の強烈なスマッシュが決まり、優勝を決めた。

女子ダブルスで加藤智香(人間科学2・埼玉栄高)・森瑞希(文2・埼玉栄高)ペアが連覇を達成。女子シングルスでは石井梨紗(文2・岡崎城西高)が準優勝を果たした。加藤・森ペアは決勝戦で、昨年に続き優勝でき

アメリカンフットボール部は関東大学リーグ戦の1部リーグTOP8で8位。12月12日にアメリカンフットボール部で行われた入れ替え戦でBIG8の1位・立教大と対戦し、21-28で惜敗、BIG8に降格した。今季BIG8から昇格した専大にとって、厳しい戦いになる

ラグビー！ 関東大学リーグ戦 1部残留ならず 9月から秩父宮ラグビー場ほかで行われていた関東大学ラグビーリーグ戦は、11月22日に全日程を終え、専大は1勝6敗

7位となった。開幕節の大東大戦で大敗を喫し、そこから体制を立て直すことができなかった。迎えた第6節の山学大戦は2000年シーズン以来、実に15年ぶりに1部リーグで勝ちを収めた。

1・2部入れ替え戦は12月13日、熊谷スポーツ文化公園で行われ、関東学院大(2部)2位に7-22で敗れ、1部残留はならなかった。入れ替え戦は、前半7-3でリードして折り返したが、後半相手FWの勢いを止められず、逆転を許した。(木村健人・商2)

1月11-17日(東京体育館) 1月11-17日(東京体育館) 1月11-17日(東京体育館) 1月11-17日(東京体育館)

1月11-17日(東京体育館) 1月11-17日(東京体育館) 1月11-17日(東京体育館) 1月11-17日(東京体育館)

記録コーナー 高柳杯兼SHIBUYAアカデミックカップ(11月21、22日、埼玉県はらっパーク宮代) 遠藤良祐(法3・国士館高)3位

準備式野球部 東都大学準備式野球秋季リーグ戦(ベストナイン) 一塁手 大信翼(法3・新潟明訓高) 三塁手 今坂僚介(ネット情報2・常葉学園菊川高) 指名打者 風見健太(経営3・竜ヶ崎第一高)



▲TDを決める秦模成(法4) 入れ替え戦で



息の合ったプレーをみせた加藤(右)・森ペア